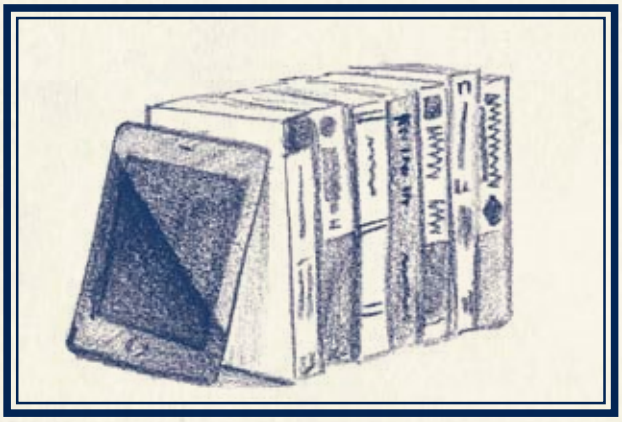
原稿作成＆イラスト作成

取扱説明書・修理書・パーツカタログ等の作成

航空機、自動車、電気・電子、通信装置及び各種機械等の工業製品には必ず同梱又は搭載されるマニュアル類（取扱説明書、修理・整備マニュアル）ですが、時代と共に、その姿も製本されたものから電子媒体に格納、あるいは Web 配信などへと変化しています。もちろん製本されたマニュアルが消滅してしまったわけではありませんが、技術の進歩と共に閲覧するスタイルの変化に合わせて変わってきています。しかし、マニュアルの重要な部分である「正しい内容を見やすく（分かりやすく）記述する」ということにおいては昔も今も変わりがありません。



「正しい内容を見やすく（分かりやすく）記述する」ためにはマニュアル作成の源流となる原稿作成及び掲載されるイラスト作成が大きく関わってきます。

膨大な知識を駆使して

原稿及びイラスト作成には種々の工業製品に関する技術的な知識や経験に加えて各種工業製品に関わる法規（マニュアルに関わる法規を含む）に関する知識が必要です。また、お客様が取り決められているマニュアルを作成するための仕様書も正しく理解することが必要です。

さらにマニュアルを利用する側からの視点をも併せ持つことも重要です。

なお、マニュアルを利用する側からの視点を骨子としながら「作りやすく（コストダウン）」という視点も必要となります。

読み手と作り手

読み手にとって分かりやすくするために細部にわたって記述をすると文字量やイラスト枚数が増え、作成コストが増える要因となります。

しかしながら、作成コストを抑えるために記述内容を絞り込みすぎると分かりにくいマニュアルとなってしまうことがあります。

弊社では、経験豊富なテクニカルライター及びイラストレーターが読み手と作り手のバランス（作成仕様の遵守を含め）を考慮しながら製作を進めていきます。

仕様書について

作成仕様が策定されている場合は、仕様書に則した原稿及びイラスト作成を行います。弊社では作成仕様が策定されていない場合にはその策定からもお手伝いすることができます。また、作成仕様が策定されている場合でも、より良いマニュアルとなるよう改善案等を提案することもいたします。

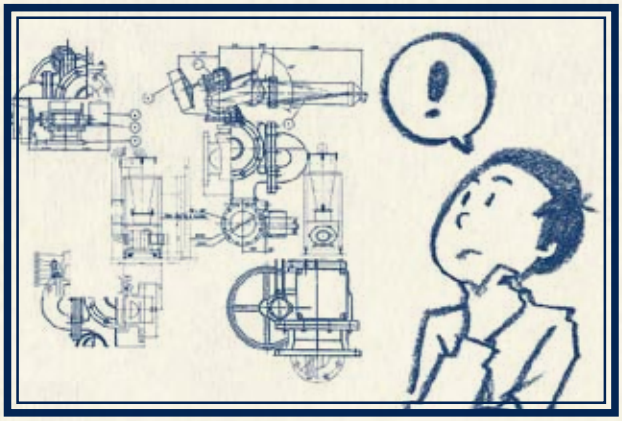
長年の原稿作成及びイラスト作成の経験から編集方針、記述レベル、記述範囲、構成、イラストや写真の処理に至るまで検討・準備段階からお手伝いさせていただくことができます。これらの検討事項を踏まえて作成仕様を策定することで､時代に則したマニュアルを作成し、お客様にもエンドユーザーにもご満足頂けると考えております。

テクニカルライターとイラストレーターの特殊能力？

原稿作成者は、収集又は提供された情報（設計製造図面、製品仕様書、写真、実物）を基に取扱い又は修理に関する要点を読み取り、文章を執筆しイラスト作成手配

を行います。この際の情報は二次元であることが多いのですが、原稿作成者は頭の中で二次元の情報を三次元化して読み解いていきます。特に構造・作動及び部品の脱着を二次元の情報から理解しようとする場合には三次元をイメージする能力が重要となります。いかに正確に早く三次元をイメージできるかが原稿作成者のスキルとして大きな比重を占めていると言っても良いでしょう。三次元をイメージすることで、実際に動くはずのない二次元の情報も頭の中では三次元となって動くものになり、その構造・作動及び脱着の手順を把握し、文章やイラストに落とし込んでいくことになります。

イラスト作成者の場合は、二次元の情報から、さらに詳細に三次元をイメージすることが必要になります。例



えばパーツカタログ等は、平面に描かれた設計製造図面等の情報を読み取り立体的に描き起こすため、すべてのパーツを立体的にイメージして作業を進めていきます。

三次元データの入手

二次元から三次元をイメージすることを強調しましたが、現実的に大手メーカーでは三次元での設計開発が行われており三次元のデータは存在します。このデータの提供を受けることができれば、そのデータを閲覧や加工するツールを利用することによって原稿作成及びイラスト作成の手法も変化します。例えば三次元データを利用して立体図を作成する場合に任意の角度で任意に線処理（本来隠れて見えなくなる線を消す隠線処理等）を行えば描き起こしに対して作業時間を大幅に短縮することが可能となります。しかし秘匿関係等により三次元のデータ提供は困難なのが実情です。

マニュアル製作者からみなさまへ

自動車のユーザーには取扱説明書（以降「取説」）を見たことがないという人もいます。取説を見なくても使えるような製品の方が好まれるのかもしれません。

実際、市販されている一般的な乗用車であれば取説を見なくても不便なく使用できると思います。本来取説は、購入時に一読して操作方法などを把握しておくためのガイドとなるものです。しかし現実には何か問題が発生した時に初めて開く方が多いのではないでしょうか。そんな時に私たちの作った取説がわかりやすく役に立つものでありたい、そういう思いで日々製作に当たっています。

ちなみに取説は自動車の「部品」という扱いで、製造ラインの工程で自動車に搭載されます。この「部品」が搭載されていないと製品にならず、走ることができません（実際には走りますが……）。

問題も発生せず一度も取説を見ずに済んでしまえば、それは幸せなことかもしれません。もし何か困ったことが起きたらぜひ取説を手に取ってみてください。私たちの言葉と絵がみなさんを助けようと腕まくりして待ち受けています。

ホンヤク出版社
YouTube 公式チャンネル について

個人がインターネットを楽しむ際、触れる機会の多いサービスのひとつが YouTube です。YouTube には個人・企業を問わず様々なユーザーが動画や音楽を投稿しており、誰でもそれらを閲覧できます。この文章をお読みになっている方のなかにも YouTube を利用されている方が多くいらっしゃるのではないでしょうか。

ホンヤク出版社も YouTube 公式チャンネルを開設しました。

ホンヤク出版社 YouTube 公式チャンネルでは、お客様に向けたサービス情報やさまざまなお役立ち情報を配信しています。翻訳に関する最新情報やマニュアル製作にまつわるあれこれを随時お届けします。

最新の動画では、弊社にて展開中の「パンフレット & 動画　同時展開サービス」をアニメーション形式で紹介しています。

YouTube 上でチャンネル登録をすると、新しい動画を配信した際にご案内があります。ぜひご登録をお願いします。
次号では弊社での YouTube 活用について詳しくご紹介する予定です。ご期待ください。

弊社の YouTube 公式チャンネルはこちら

URL　https://www.youtube.com/channel/UCknUuiy5Qf1bCQrmRGY4fZA

短縮URL
http://goo.gl/q9Q1xY

QRコード

2015 年 2 月発行

株式会社 ホンヤク出版社
【東京本社】〒 160-0003　東京都新宿区本塩町 14-9　あをばビル
TEL：03-3355-4411　FAX：03-3355-4474
【中部支社】〒 453-0014　名古屋市中村区則武 1-10-6　側島第 1 ビル 405 号
TEL：052-452-6947　FAX：052-452-1334